

令和2年度第5回 医学系研究倫理審査委員会議事要旨

I 日 時 令和2年8月24日(月) 15:00~15:45

II 場 所 管理棟3階 大会議室

III 出席者 藤枝委員長、小林委員、青木委員、重見委員、稲谷委員、秋野委員、井川委員、上野委員、岩佐委員、西村委員、後藤委員、大北委員、喜多山委員(松岡C研究推進課長)、清水委員(医療サービス課長)、木元委員(福井県立大学)、草桶委員、高嶋委員

欠席者 酒井委員、前田委員、川谷委員

事務局側 (松岡C研究推進課) 坂井主査、村田主任、山田主任、山本事務補佐員、鈴木事務補佐員

(医学研究支援センター) 渡邊講師、坂下講師、渡辺技術補佐員、廣部事務補佐員

IV 議 題

1 前回議事要旨の確認

7月20日に開催した第4回倫理審査委員会の議事要旨(案)が承認された。

2 審 議 事 項

(1) 「ロボット支援下前立腺全摘除術患者に対する超音波を利用した骨盤底筋訓練指導による尿失禁への効果」

看護部 平井氏から、資料に基づき説明があった。審議の結果、修正の上、承認することとなった。

(2) 「30代妊婦の乳房の意識・乳がんの意識向上を目指したBreast Awareness教育の効果」

看護学科大学院生 酒井氏から、資料に基づき説明があった。審議の結果、統計解析方法について専門家に相談・修正の上、承認することとなった。

(3) 侵襲の有無を判断する際の採血量・MRI撮影回数を目安について

坂下講師から、資料に基づき説明があり、審議の結果、侵襲の有無を判断する際の採血量・MRI撮影回数を目安について、研究目的で16歳以上は20cc/回を超える採血及び造影剤を用いない3回/年以上のMRI等の撮影については、侵襲ありとすることとした。

(4) 倫理審査の変更申請における様式について

委員長から、資料に基づき説明があり、旧様式で変更申請のあった際は、現行の倫理指針に規定されている項目が不足しているため、現様式へ書き換えてもらう旨提案があり、審議の結果、承認された。

(5) 令和元年度の継続審査について（実施状況報告書）

事務局から、今回提出のあった4件について報告があり、審議の結果、研究の継続が承認された。

(6) 令和2年度の継続審査について（実施状況報告書）

事務局から、8/20までに提出のあった89件について、問題なく研究が進められている旨の報告があり、審議の結果、研究の継続が承認された。

3 報告事項

(1) 迅速審査結果について

事務局から、資料に基づき、令和2年7月14日～令和2年8月11日に実施された迅速審査53件について、承認された旨の報告があった。

(3) 終了（中止）報告書について

事務局から、資料に基づき、前回の委員会報告後に提出された終了報告10件、中止報告4件について報告があった。

4 その他

(1) 「臨床研究講習会」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究講習会」の受講ルールの制定について

委員長から、資料に基づき説明があり、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を行う研究責任者・分担者全員はゲノム・遺伝子解析研究に関する講義の受講を義務づける旨の提案があり、承認された。

次回開催予定日 : 9月28日（月）15:00～16:00